

## Tiger Technology社、projectStore PROによる クロスプラットフォームワークスペース共有を実演

～プロエディターとエンジニアが対応、Tiger Seriesの新ドライバーも稼働～

米国・ラスベガスで開催されたNAB Show 2015にて、Tiger Technology社ブースはおかげ様で盛況のうちに会期を終えることができました。ご多忙中にもかかわらず、多くのお客様にお立ち寄りいただき誠にありがとうございました。

世界中からTiger Technology社セールspartnerが集まる中、今年は日本ディストリビューターとして弊社担当がブースに駐在いたしました。Tiger Technology社の展示製品やデモ内容について、現地からの写真を交えながらご報告いたします。

Tiger Technology社ブース風景 ▶



### ブース展示概要

例年比比べ広い展示スペースを設けた今回は、Tiger Series製品の優れた機能と使いやすさをじっくりご確認いただける展示構成となりました。ブースでの展示製品(下記参照)はすべて19インチサーバーラックに格納し、会期中は常時稼働させていました。サーバーラックの裏側からは背面の接続が確認できるようになっており、配置にも工夫が感じられました。このほかブース内には計3スクリーンを設置、それぞれがMac、Windows、Linuxいずれかのクライアントマシン1台を併設。これら異なるOSのクライアントマシンは、サーバーラックに入ったアプライアンス製品が構成するSANファイル共有のすべてに参加し、ブースのどこからでもクロスプラットフォームでデータにアクセスできる環境が整えられていました。



これまでTiger SeriesのSANファイル共有を中心に紹介してきたTiger Technology社ですが、今年はTiger Series オプションのprojectStore PROで作る共有ワークスペースを軸に、ワークフローの提案が行われました。ブースでデモをご覧になった日本のリセラー様、ユーザー様からも、projectStore PRO はご好評いただいています。

- ◀(下段左) 展示ハードウェアはそれぞれにSANを構築。上から、
- Tiger Serve (SAN共有コントローラ) + dotHILL 16Gb FCストレージ
  - Tiger Box (SAN共有ストレージアプライアンス)
  - Tiger Box1 (コンパクトSAN共有ストレージアプライアンス)
  - Tiger Serve1 (コンパクトSAN共有コントローラ) + Accusys PCIe ストレージ

(下段右) 配線確認のためサーバーラック裏側に回り込める。

## 製品デモンストレーション

projectStore PRO は共有ワークスペース（プロジェクト）とユーザーの作成・管理を可能にする、Tiger Series のためのオプションソフトウェアです。作成したプロジェクトは Tiger Series の SAN 共有ボリューム内に隠しフォルダとして保存、マウント時にはローカルディスクとして表示されます。クライアントは Mac、Windows、Linux をサポート。プロジェクト内に保存したメディアのプロキシデータが自動で生成され、マウント不要で Web UI から閲覧可能です。さらに projectStore PRO は Avid FS エミュレーション機能を備え、ピンロックを使った Avid ワークフローに対応しています。

Tiger Technology社ブースのメインスクリーンでは、展示期間を通して2名のプロエディター（Brian Klein氏とSteve Oakley氏）による実演が行われました。Tiger Serve と dotHILL ストレージの SAN 共有システムに projectStore PRO を追加し、クロスプラットフォーム共有ワークスペースを構築、異なる OS やアプリケーション間でのワークフローがデモンストレーションされました。現地で使用したアプリケーションは以下の通りです。

- ・ Windows（Avid Media Composer、Adobe Premiere）
- ・ Mac（Final Cut Pro X）
- ・ Linux Red Hat（Autodesk Flame Assist）

特筆すべきは、現行バージョンの projectStore PRO v3.5.1 で Linux に対応し、Autodesk など Linux OS ベースのアプリケーションとの連携が可能となったことです。より多くのクライアントマシン間でワークスペースを共有し、メディアやプロジェクトファイルをシームレスに読み込み/書き込みすることができるようになりました。

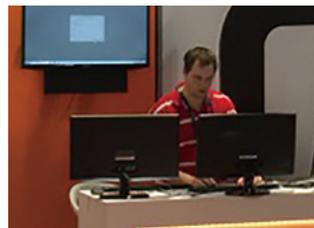
また残りの2スクリーンでは Tiger Series の Web UI から行う各種設定や、projectStore PRO の Web UI でのプロジェクト作成などを、Tiger Technology 社エンジニアが個別にデモンストレーションしました。Tiger 製品の特徴とも言えるセットアップ・操作・管理の簡単さをアピールするとともに、来訪者の具体的課題や質問に対して提案やアドバイスをするなど、充実した情報提供が行われていました。

## Tiger Series ドライバー v2.6 リリース

Tiger Series のドライバーが、間もなく v2.6 にバージョンアップされます。NAB では新バージョン v2.6 ベータ版がすでに稼働していました。現行ドライバー v2.5 では Tiger Box 搭載の 1GbE クライアントポートを Web UI からチーミング可能ですが、ベータ版 v2.6 ではさらに 10GbE クライアントポートのチーミングも仕様に加わっていました。最新バージョンのリリース情報につきましては、別途ご案内いたします。

## おわりに

以上、NAB Show 2015 での Tiger Technology 社展示の様子をお伝えいたしました。今回は特に日本から多くのお客様にご来訪いただき、Tiger Technology 社ともども心より御礼申し上げます。また現地で実機デモをご覧いただけなかったお客様も、Tiger Series 製品を弊社でご覧いただくことが可能です。そのほか製品詳細、カタログなど Tiger Series のご用命は、弊社営業担当までお問い合わせください。



▲ (上) Steve Oakley氏  
(下) Brian Klein氏

[発行元]



エムアイシー・アソシエーツ株式会社

〒103-0004

東京都中央区東日本橋 3-12-12 櫻正宗東日本橋ビル

Tel:03-5614-3757 Fax:03-5614-3752

mic\_sales@micassoc.co.jp

www.micassoc.co.jp